

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：関市池尻 91-2
事務局：関市西本郷通 5-2-53 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 波多野篤志 副会長 古田博文 幹事 吉田和也 クラブ会報委員長 塚原康寿

2018～2019 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ
「自ら行動するロータリーへ！」



インスピレーションになる

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1946回例会 2018年7月26日(木)
「C. A 新年度活動方針」 / 担当 会長・幹事

前例会の記録 第1945回 2018年7月12日(木)
ガバナー補佐様によるC. A 担当/会長・幹事

- *ロータリーソング「我等の生業」斉唱
- *R情報委員会 佐藤委員長「四つのテスト」唱和
- *お客様の紹介

東海北陸道グループ ガバナー補佐 可児昌則様

*会長あいさつ 波多野篤志会長

本日は、今年度の第1回目の例会です。又、今日は、ガバナー補佐 可児昌則様によるC. Aとなつていきます。各委員長より今年度の事業計画を発表して頂き、その後ご意見を頂きたいと思しますので、よろしくお祈りします。

まず初めに私の発表を少しさせていただきます。会長就任の挨拶でも発表しましたように、今年度は、会員一人一人のロータリーライフがより充実するようにクラブ活動を進めていきたいと思っています。関中央ロータリークラブの今年度のテーマを「自ら行



動するロータリーへ！」とさせていただきます。このテーマの意味は、一人一人が持っているロータリーの魅力を自ら表現して欲しいということです。そしてその魅力を他の会員(若手)の方や入会を勧めたい方に伝えて頂きたいと思つています。経験豊富な方々が大勢みえるわけですから、若い会員に伝えることで、会員増強やクラブ運営の充実のために役立てていきたいと思つています。

今年度の事業の中のロータリー財団のお金を使った活動について説明します。ロータリー財団の補助金を有効に使っていきながら、クラブ運営をすることに成りました。今年度がその始まりの年です。毎年計画を進めるには、一年前からの申請が必要です。基本的には、ロータリー財団と社会奉仕委員会が主体に動いていただくことに成ります。委員会の人員構成を複数年で考えて行かなければなりません。そのことを今後もよろしくお祈りします。

本年の開催時期は、8月7日火曜日に「ひとり親家庭の子ども学習支援プロジェクト」として名古屋科学館に、NPO法人子援隊に通うひとり親家庭の子ども

も（特に小学生）とその親を対象に招待し、夏休みの自由研究の手助けをしたいと計画しました。科学館では、プラネタリウムの見学や食育に対する教育を考えています。その他の時間は自由見学とし、科学の世界を広く知ってもらおうと言う企画です。当日は、8時20分までに関バスターミナルに集合して頂き、バスで名古屋市科学館に行きます。帰りは、15時30分まで見学をしてその後バスで移動し16時30分に関バスターミナルで解散の予定です。後日子供達には、感想文を書いていただき提出してもらいます。また、NPO法人子援隊の佐藤さんとNPO法人ヘルシーライフせきの土屋さんには、例会に来ていただき、ご講話をしていただく予定になっています。全員の参加をお願いして本日のご挨拶とします。

*ご挨拶 東海北陸道グループ

ガバナー補佐 可児昌則様

今月から正式にガバナー補佐としてご紹介頂いておりますが、自分の中では見習い期間中のような気持ちです。今日はガバナー補佐C. Aということで、私なりに思ったことを後程述べさせていただきたいと思っております。



*ガバナー補佐様によるC. A

・クラブ奉仕委員会 古田博文委員長

基本方針は会長、幹事をサポートするというので、その他には、副会長は会長がもし何かあった場合に代理をすることだろうと思っております。



事業計画ですが、会長・幹事と各委員長の意思の疎通を図るという役割が一番だと思います。また、理事会で司会をし、なるべく皆さんの意見を聞き、クラブとしての意思を統一していきたいと思っております。1年間どうぞよろしくお願い致します。

・職業奉仕委員会 伊佐地司委員長

基本方針としましては会員個々の職業において職業上の高い倫理基準を保ち地域社会に奉仕することを推進する。具体的な事業計画としましては、1. 職業奉仕担当例会に卓話を実施する。私は交通安全に携わる仕事をしておりますので、それに関連す



る卓話をさせて頂きたいと考えております。2. 職場例会を実施するというのですが、皆さんの興味を持って頂けるような所を探して実施したいと思っております3. 親睦活動委員会の事業に協力する4. 奉仕活動に協力するとして波多野会長の計画にもありますように財団補助金を利用した事業を利用した事業、高校生を台湾に連れていくような事業がございますので積極的に参加させて頂きたいと思っております。

・社会奉仕委員会 小川糧司委員長

社会奉仕委員会は委員長、副委員長の他、委員に理事役員の皆さん全員ということで、クラブ挙げての委員会だろうと思っております。



今年度の事業としては、地域社会と連携を図り、地域の色々なニーズを掘り出しながら、事業に取り組みたいと思っております。事業計画としては、地域の諸行事に積極的に参加し支援をする。環境保全委員会は例年通り、11月4日に森林整備例会がございますので進めていきたいと思っております。子ども食堂に食材を提供するというので、青少年問題にも取り組んでいきたいと思っております。ひとり親家庭の子ども学習支援プロジェクトの外に、9月にバーベキュー大会を計画できないかと検討しております。社会奉仕ということなので、全ての奉仕活動に絡んでいくことになるかと思いますが、1年間頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

・国際奉仕委員会 川上勉委員長

「基本方針」国際奉仕の精神に基づき、世界の人々との国際交流に努め、国際理解と友好、親善を図る。



国際奉仕の精神とは、世界で紛争や戦争など有事の際には、国際ロータリーは中立を守る立場にあり、当該国のロータリークラブとロータリアンは、それぞれ国法を遵守しなければならず、これらの国々の間では友情や親睦を築く事は困難になります。つまり、世界の恒久的平和の推進を願うロータリーの国際奉仕活動も有事の際には限界があるという矛盾もはらんでいますが、ロータリアンは手続要覧に明記されている、8項目の個々の責務を忘れてはならない。

「8項目」

1. 共通の基盤を求め、これを育成すべきである。
2. 理想、言論、集会の自由、迫害と侵略からの解放、欠乏と恐怖からの解放を享受できるように、個人の自由を守る法律と秩序を擁護すべきである。
3. どこかが貧困であれば、全体の豊かさを危うくすると認識し、あらゆる国の人々の生活水準を高めようとする行動を支援すべきである。
4. 人類に対する正義の原則を高くかざすべきである。この原則は基本であり、世界的なものでなければならぬと認識すべきである。
5. 国家間の平和を推進しようと常に務め、この理想のためには個人的犠牲を払う覚悟をすべきである。
6. 実践されれば、必ず豊かで充実した人生をもたらす、倫理的・精神的基本的水準が存在すると認識し、国際親善の一步として、あらゆる他の人々の信念を理解する心をかき立て、これを実践すべきである。
7. 国家間の関係が緊迫しているところで活動やプログラムを実施する場合には、適切な注意を払うべき。
8. 愛国主義にとらわれず、自分が、国際理解と親善と平和を推進するという責務を共に負っているものとみなすべきである。

「事業計画」

1. 姉妹クラブとの交流を図る（約8年前より交流をはじめた、台北南隆RCとの交流を密にする）
2. 関商工高等学校インターアクトクラブの国際奉仕活動への協力（今年度12月19日から派遣、景文高校生徒の交流・親睦を行う。来年5月又は、6月に景文高校生の受け入れ交流・親睦が計画されている）
3. ロータリー財団委員会、社会奉仕委員会との活動を共有する（台北南隆RCとグローバル補助金利用による活動計画の模索協議を行う）

・青少年育成委員会 神谷秀幸委員長

私は、関中央RCに入会して24年になりますが、この青少年育成の委員長は今回で5回目ということになりました。委員会メンバーには、副委員長に藤村伸隆さん、委員に前田仁夫さん、土屋敏幸さんと頼もしいメンバーです。始めに基本方針として、次代を担う青少年の健全育成のために、地



域社会と連携して支援協力をしていく。

具体的に事業計画として

1. 関商工インターアクトクラブに協力していく
 2. 関市発明工夫展、児童生徒科学作品展に協賛する
 3. 関市スポーツ少年団行事を支援協賛する。
- ご存知のように我クラブの活動は、環境保全と青少年の健全育成が活動の中心になっています。そこで、我委員会としては、関商工インターアクトクラブ、スポーツ少年団、児童生徒が関わるような事業に対し、積極的に支援協力していきたいと思えます。皆様のご協力とご支援をお願いします。

さて、今年5月13日、国際ロータリー第2630地区、青少年育成研修セミナーが三重県四日市市で開催されました。そして、次年度の青少年育成小委員会の方針は出前講座の普及だけに絞っていきたいとのことでした。

ロータリーの出前講座とは、ロータリアンがそれぞれの地域の学校へ出かけていき、様々なテーマの中から学校側のニーズに合った内容の話をするというもので、

1. この出前講座の目的は

職業人と生徒の交流を通して、次代に担う子供たちに働くことの意義、「夢」や「誇り」を持つことの大切さを伝え、将来について考える場を作る。

2. 次にその必要性について

今、学校が求めているキャリア教育の一環として年間プログラム化ができる。職種が多種多様なロータリークラブが提供することで、授業の幅が広がる。ロータリーの基本理念である職業を通して社会に奉仕する「形ある事業」

3. 具体的な内容について

生徒は10人以下ぐらい、コミュニケーションを取りながら自社の会社案内、仕事の内容、成功や失敗したことなど自身の体験話などから入り、一方的にならず生徒の意見を求める対話形式も取り入れる。

そして、社会人としてあいさつや返事をするものの大切さ、また、働くことはお金だけが目的ではなく、人の役に立つことの大切さを伝える。説教にならないよう、自由な意見をだしてもらい前向きな話し合いに導く。最後は各グループでの内容を全大会

の中で発表してもらおう。

今、関市でも、職場体験学習や、青少年健全育成協議会、幼保小中高生徒指導推進会議など地域と学校とが連携協力して青少年の健全育成を考える取り組みが行われています。我クラブも近い将来こんな出前講座を考えてみてはどうでしょうか。

・ガバナー補佐 可児昌則様による助言及び総評

西日本の豪雨災害は各地で大きな被害をもたらしました。岐阜県でも例外ではなく関中央ロータリークラブのメンバーさんの家も水害に遇われたと聞きました。お見舞い申し上げます。

さてRI バリー・ラシン会長 テーマ「インスピレーションになろう」このテーマを決められ意欲を以っておられます。私は少なからずお手伝いのできればと思っています。インスピレーションすなわちひらめきを以って行事等に取り組みをすれば意欲も高まりいい方向に行くと思います。ここでRI 会長のメールの一部を紹介させていただきます。「今年のロータリー年度のテーマは “インスピレーションになろう”です。私は長年にわたり、ロータリアンが活動を通じて真に意欲を高めていく姿を見てきました。奉仕を通じて最も大きな影響をもたらす人とは、必ずしも多くのリソース、豊かな経験、また幅広い人脈をもつ人ではありません。大きな影響を生むのは、インスピレーションを得た人たちです。何かをした経験、見た経験、または誰かに会った経験など、その経験で心に火がともされ、奉仕のインスピレーションを得たのです。」ほんの一部ですが紹介させていただきました。参考に成りますでしょうか。関中央RCさんは交換留学生・姉妹クラブなどいろいろな取り組みをされていて頭が下がります。昨年の職場例会は県の博物館という事でしたが、各務原には自衛隊もあり管制塔やら気象隊の見学・また警察本部などの見学も良いかと思えます。青少年育成の出前講座の取り組みも良いです。また一度野外の例会に参加させていただこうと思えます。宜しくお願いします。最後に 10 月 13 日 14 日に開かれる地区大会に多くの参加をお願いしまして本日の挨拶にさせていただきます。

＊出席委員会

会員数 32 名、本日の出席 17 名です。

＊ニコボックス委員会

・会長・副会長・幹事

東海北陸道グループ ガバナー補佐 可児昌則様、ようこそお越しくださいました。本日のクラブアッセンブリー、各委員会の今年度の事業計画発表後の助言及び総評をよろしくお願ひします。

・広瀬恒行君

上之保で水害にあわれた会員の皆様お見舞い申し上げます。

・小澤重忠君

東海北陸道グループ ガバナー補佐 可児様のご来場を歓迎して。

17 名のご投函ありがとうございました。

＊幹事報告

例会終了後、理事・役員会を行います。

<次例会の案内>

第 1947 回 2018 年 8 月 2 日 (木)

「C. A 新年度活動方針」 担当：会長・幹事